

# ISO/IEC/JIS Plastics 事務局便り 2008年12月

## ISO/TC61(プラスチック)/WG2(環境ガイド)について

ISO/TC61 [国際幹事アメリカ(ANSI)] には、直属の2つのWGと10のSCがある。本稿ではISO/TC61/WG2の設立経緯と、最近の動向及び国内でのミラー委員会 [当連盟のISO/TC61/WG2委員会：小野主査(実践女子大学名誉教授)、以下「国内委員会」] と関連活動状況について概要を記す。

尚、WG2のコンベナーは、WG2設立前の環境タスクグループ(ETG)から、Dr. T O'Neil(英)が担当している。

### 1. WG2 設立の背景

環境への世界の関心は1972年の国連人間環境会議で始まり、ISO規格へ環境関連事項を取込む背景は、1987年の国連環境開発会議での「持続可能な開発のための事業理事会」が、環境性能の国際規格の考えをISOへ働き掛けたことに遡る。

これを受け、ISO/IECでは1992年2月環境に関する戦略諮問グループ(SAGE)を設置した。SAGEは翌年3月にISO/TC207(環境マネジメント)へ展開した。

一方、1992年6月国連環境開発会議は、リオ地球サミットで「環境と開発に関するリオ宣言」、「アジェンダ21」などの宣言を採択し、環境への関心が世界的に高まった。

### 2. TC61 での問題点と対応

世界的な環境への関心の高まりを受け、日本は、プラスチック規格へ環境対応を織込む指針を作るべく検討を開始したが、TC61では思わぬ問題があることが判明した。すなわち、TC61の業務指針とガイド(IGM)に、「健康と環境に対する悪影響を調べる試験方法についてはTC61の範囲外」とする条項(1978年に決議)があった。

早速、日本はTC61議長へIGMの改正提案を送った(1992年8月)。

この提案は、同年9月のTC61年次会議で了承され、12月TC61メンバーの国際投票にかけられたが、Pメンバー24ヶ国中、12ヶ国が無返答であった。この為、翌年(1993)の年次会議で、未投票国に投票督促をすることに決定した。翌年(1994)の年次会議で、日本のIGM改正提案が承認された。

(最終結果は、賛成:11,反対:4,無返答:9であった。)

1995年の年次会議で、IGM改訂版が配布され、同時に日本が翌年の年次会議で検討する為の指針案を準備することが了承された。

### 3. 具体的規格案作成に向けた取組とTC61/WG2の設立

これを受け、国内では1995年10月「環境側面導入のガイド研究グループ(SGE/J)」を結成して、具体的な指針案の作成作業に着手し、翌1996年8月に指針案をTC61議長に提出した。この指針案を基に後述の**JIS Z7001:2000**が、**ISO 17422:2002**に先立ち制定した。

1996年9月の年次会議で、SGE/Jが提出した指針案を検討し、環境タスクグループ(ETG)を結成して検討を加えることが決まった。

ETGは、その後5回の会議を開催し、1999年7月環境指針の審議文書(NWPI)を同年11月11日期限で国際回送した。

1999年10月1日に第1回TC61/WG2会議が開催された。

#### 4. 国内に於けるSGE/Jの活動

指針案をTC61に提出後、SGE/Jは、TC61/ETGのフォロー及び1998年(H10年度)からは、日化協の化学標準化センター経由で、「プラスチックリサイクルの標準化に関する調査研究事業」に参加する形で、2001年2月迄に延べ29回のSGE/J会議及び関連会議で検討を重ね、環境関連の次の5つのJIS原案(発効済みは発効年を記載)を作成し、2001年度からは、活動を国内委員会へ引き継いだ。

1. **JIS Z 7001:2000**, プラスチック規格への環境側面の導入に関する指針,
2. **JIS Z 7120:2003**, プラスチック-プラスチック製品へのメビウスループ適用指針,
3. **JIS Z 7121:原案**, 再生プラスチック材料を製造するための指針,
4. **JIS Z 7122:原案**, プラスチックの燃焼の環境への影響を考慮する方法に関する指針,
5. **TR 原案**, プラスチックのリサイクル及び環境関連用語

#### 5. 国際と国内委員会の現状

国内委員会では、前述のSGE/J及び関連委員会が作成したZ7001とZ7120原案をJISとして制定させ、Z7121原案を基にISOへ提案した。

TC61/WG2では、WG2設立の経緯となった**ISO 17422**を2002年9月に、Z7121原案に基づき提案した**ISO 15270**が2006年9月に、その改訂版を2008年6月に発行させた。現在、WG2が所管する2規格：**ISO17422**と**ISO15270**の修正作業を開始した。

国内委員会では、ISO 17422と整合させた**JIS Z7001**の改正作業を実施し2007に改訂版が発効した。また、**ISO 15270**の改訂版を整合化**JIS**とするべく原案作成の準備を開始した。

以上